

令和7年度 第4回 蒲郡市民病院特定認定再生医療等委員会

●開催日時：令和8年1月15日（木曜日） 14時00分～15時30分

●開催場所：蒲郡市民病院ほか（TV会議方式で開催）

●出席委員：

委員会での役割	氏名	構成要件 (※1)	設置者との利害関係	委員の出欠・利益相反 (審議案件別)※2		成立要件チェック (審議案件別)※3		備考
				議題Ⅰ	議題Ⅱ	議題Ⅰ	議題Ⅱ	
委員長	城 卓志	③	有	○	○	1 : <input checked="" type="checkbox"/>	1 : <input checked="" type="checkbox"/>	
副委員長	畠 賢一郎	②	無	△	△			
委員	本田 雅規	①	無	○	○	2 : <input checked="" type="checkbox"/>	2 : <input checked="" type="checkbox"/>	
	脇谷 滋之	②	無	○	○			
	黒田 享	②	無	○	○	3 : <input checked="" type="checkbox"/>	3 : <input checked="" type="checkbox"/>	
	神田 佳恵	③	有	×	×			
	久保 良二	③	有	×	×	4 : <input checked="" type="checkbox"/>	4 : <input checked="" type="checkbox"/>	
	鳥山 和宏	③	有	○	○			
	飛田 護邦	③	無	○	○	5 : <input checked="" type="checkbox"/>	5 : <input checked="" type="checkbox"/>	
	紀ノ岡 正博	④	無	×	×			
	森 由紀夫	④	無	△	△			
	伊藤 経夫	④	無	○	○			
	杉島 由美子	⑤	無	○	○			
	佐藤 恵子	⑥	無	○	○			
	八代 嘉美	⑥	無	×	×			
	松木 伯元	⑦	無	△	△			
神谷 武	⑦	無	○	○				
杉森 順子	⑧	無	○	○				
金子 哲三	⑧	無	○	○				

※1：構成要件(第二種)

- ① 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家
- ② 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
- ③ 臨床医(現に診療に従事している医師又は歯科医師をいう。)
- ④ 細胞培養加工に関する識見を有する者
- ⑤ 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家
- ⑥ 生命倫理に関する識見を有する者
- ⑦ 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者
- ⑧ ①から⑦までに掲げる者以外の一般の立場の者

※2：出欠

- 出席し、かつ当該再生医療等提供計画に関与しない委員
- × 欠席した委員
- △ 出席したが、当該再生医療等提供計画に関与する等のため審議・議決に不参加の委員

※3：成立要件

委員会の審議の場で、審議案件ごとに以下の要件を満たすことを確認してチェック。

1 五名以上の委員が出席していること
2 男性及び女性の委員がそれぞれ二名以上出席していること
3 構成要件②、④、⑤又は⑥、⑧に挙げる者がそれぞれ一名以上出席していること
4 審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関(当該医療機関と密接な関係を有する者を含む。)と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること
5 認定委員会開設者と利害関係を有しない委員が二名以上含まれていること

●議題 I

<審議案件>

【変更】

再生医療等提供機関	きずときずあとのクリニック	
再生医療等提供機関管理者	院長 村松 英之	
再生医療等の名称	・『自家培養表皮を用いた表皮形成術』 (第二種)【治療】	
事務局受理日	令和7年12月19日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	畠副委員長、森委員、松木委員	
説明者	きずときずあとのクリニック 院長 松村 英之	
技術専門員(専門領域)	名古屋市立大学病院 形成外科 鳥山 和宏	
議論の概要	○前年度の報告をふまえた変更内容となっている。特段問題なく【適】とされた。	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議及び採決に参加した委員12名の全員一致による
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】

<報告案件>

【定期報告】

再生医療等提供機関	きずときずあとのクリニック	
再生医療等提供機関管理者	院長 村松 英之	
再生医療等の名称	・『自家培養表皮を用いた表皮形成術』 (第二種)【治療】	
事務局受理日	令和7年12月19日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	畠副委員長、森委員、松木委員	
説明者	きずときずあとのクリニック 院長 松村 英之	
技術専門員(専門領域)	名古屋市立大学病院 形成外科 鳥山 和宏	
議論の概要	○提出された報告の内容から、再生医療等が安全に実施され、有効性についても妥当性が認められることから再生医療等の継続は問題ないとされた。	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議及び採決に参加した委員12名の全員一致による
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】

●議題Ⅱ

<報告案件>

【定期報告】

再生医療等提供機関	医療法人 Yanaga Clinic	
再生医療等提供機関管理者	理事長 矢永 茄津	
再生医療等の名称	・『熱傷、瘢痕、にきび痕、潰瘍、母斑、又は白斑に対する自家培養表皮移植』 (第二種)【治療】	
事務局受理日	令和7年11月7日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	畠副委員長、森委員、松木委員	
説明者	事務局	
技術専門員(専門領域)	名古屋市立大学病院 形成外科 鳥山 和宏	
議論の概要	○報告内容から安全性、有効性について特に問題は無いとされ継続については【適】とされた	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議及び採決に参加した委員13名の全員一致による
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】

【定期報告】

再生医療等提供機関	医療法人 Yanaga Clinic	
再生医療等提供機関管理者	理事長 矢永 茄津	
再生医療等の名称	・『軟骨、骨の組織欠損、変形、又は低形成に対する自家培養軟骨細胞移植』（第二種）【治療】	
事務局受理日	令和7年11月7日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	畠副委員長、森委員、松木委員	
説明者	事務局	
技術専門員（専門領域）	名古屋市立大学病院 形成外科 鳥山 和宏	
議論の概要	○報告内容から安全性、有効性について特に問題は無いとされ 継続については【適】とされた	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議及び採決に参加した委員13名の全員一致による
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】

【定期報告】

再生医療等提供機関	医療法人 Yanaga Clinic	
再生医療等提供機関管理者	理事長 矢永 茄津	
再生医療等の名称	・『皮下脂肪や皮下組織の欠損や変形、乳房の欠損や低形成又は胸郭変形に対する自家培養脂肪移植』（第二種）【治療】	
事務局受理日	令和7年11月7日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	畠副委員長、森委員、松木委員	
説明者	事務局	
技術専門員（専門領域）	名古屋市立大学病院 形成外科 鳥山 和宏	
議論の概要	○報告内容から安全性、有効性について特に問題は無いとされ 継続については【適】とされた	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議及び採決に参加した委員13名の全員一致による
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】

【定期報告】

再生医療等提供機関	医療法人 Yanaga Clinic
-----------	--------------------

再生医療等提供機関管理者	理事長 矢永 茄津	
再生医療等の名称	・『顔面やその他の部位の癍痕、傷痕、陥凹変形、老化によるしわに対する自家培養線維芽細胞注入』（第二種）【治療】	
事務局受理日	令和7年11月7日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	畠副委員長、森委員、松木委員	
説明者	事務局	
技術専門員（専門領域）	名古屋市立大学病院 形成外科 鳥山 和宏	
議論の概要	○報告内容から安全性、有効性について特に問題は無いとされ 継続については【適】とされた	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議及び採決に参加した委員13名の全員一致による
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】

【定期報告】

再生医療等提供機関	医療法人 Yanaga Clinic	
再生医療等提供機関管理者	理事長 矢永 茄津	
再生医療等の名称	・『顔面やその他の部位のしわ、たるみ、癍痕、傷痕、陥凹変形に対する自家PRP注入』（第三種）【治療】	
事務局受理日	令和7年11月7日	
議決不参加の委員 (申請者との利益相反あり等)	畠副委員長、森委員、松木委員	
説明者	事務局	
技術専門員（専門領域）	名古屋市立大学病院 形成外科 鳥山 和宏	
議論の概要	○報告内容から安全性、有効性について特に問題は無いとされ 継続については【適】とされた	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議及び採決に参加した委員13名の全員一致による
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】

●その他

<報告案件>

【定期報告：迅速審査】

再生医療等提供機関	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	
再生医療等提供機関管理者	院長 亀田 俊明	
再生医療等の名称	・『関節軟骨全層欠損部位への自家培養軟骨移植』 (第二種) 【治療】	
事務局受理日	令和7年12月16日	
議論の概要	○報告期間において提供件数0件であり、内容からは特に問題無いとされ継続については【適】とされた。 (令和8年1月8日委員会にて他委員へ報告し承認される。)	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	委員長による審議及び採決による
	結論 (適・継続審議・不適)	【適】